

令和5年度

北谷町行政懇談会答弁書

宇 地 原 区

令和5年度北谷町行政懇談会 質問及び答弁一覧

	行政区	質問項目	質問等要旨	答弁	担当課
1	宇地原区	白比川沿いの進捗状況について (質問者：宇地原区自治会)	前回質問した、白比川沿いの進捗状況について確認したい。	白比川護岸工事につきましては、令和6年度から令和7年度にかけて、左岸側（海に向かって左側護岸）、令和8年度に右岸側（海に向かって右側護岸）の工事を行い、事業完了は令和8年度の前年度とのことです。 中部土木事務所との意見交換会については、開催に向けて中部土木事務所や宇地原区と調整してまいります。	土木課
2	宇地原区	人口減少による町営住宅の建設について (質問者：宇地原区自治会)	人口減少について、宇地原・北玉区の町営住宅建設を要望する。	町営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して賃貸するもので、基本的には民間アパートの家賃の高騰に対応する制度（法律）ではありません。そのため、仮に町営住宅を建設したとしても前述した方々が対象となります。現在、本町には町営住宅が2箇所、県営住宅が4箇所あり、人口や町の規模からみて公営住宅は十分設置されているものと考えており、また、県営砂辺団地においては、建替事業の計画において増戸されることが予定されていることから、現時点においては町営住宅の建設は予定していません。 一方で、近年、不動産価格や建築費等の上昇により、若者世帯や子育て世帯等が住居を確保しづらいとの声が寄せられております。本町として、居住支援と合わせた子育て世帯が安心して暮らせる住環境づくりが必要であるとかがえております。 具体的な取り組みとしては、子育て世帯の定住と転出の促進を図るため、子育て関連施設の整備や子育て支援など、安心して子育てができる環境づくりに引き続き取り組むとともに、町営住宅空地待ち抽選に際して、子育て世帯を優遇する仕組みづくりを検討してまいります。 また、子育て世帯や高齢者等の住まい探しを支援するため、沖縄県居住支援協議会と連携して、住宅確保に向けた情報提供や低廉かつ良質な民間賃貸住宅等の誘導について調査研究してまいります。	都市計画課
3	宇地原区	人口減少によるインフラ整備や空き家増加について (質問者：宇地原区自治会)	現在町人口約2万9千人。人口減少について問いたい。特に東部地域(宇地原・謝莉・北玉)の人口減少が著しい。インフラ整備の必要性(児童の登下校時に車道を歩く危険な状態)や、空き家が増えていく事について、どのような認識を持っているのか追求したい。	空家につきましては、令和3年4月1日より施行された空家条例において、空家の所有者における適正管理の責務を示し、その周知に取り組んでいるところです。また、令和5年12月13日より空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が施行され、空家等に係る対策について総合的に強化されております。 本町においては、これまで通り空家所有者に対し助言、指導を行っていくとともに、同法の施行に伴い、空家の発生抑制や活用拡大、除却等の促進に努めてまいります。 (区画整理係) 東部地域は、狭い道路や老朽化した住宅が密集するエリアが多く存在し、防災面など、住環境上の懸念が多々あるものと認識しております。今後は、安全で安心して暮らせる住環境の整備が必要であると考えており、今年度は、お住いの皆さまの困りごとや要望などを洗い出すために、アンケート調査を実施したところです。次年度以降は、アンケート調査の結果を踏まえ、地域の皆さまとの意見交換や勉強会を重ね、住環境の改善に向けた具体的な取組を検討していく考えであります。	都市計画課
4	宇地原区	人通りのない通学路の安全性について (質問者：宇地原区自治会)	(小・中学生)子供たちが登下校時に使用している人通りのない道での安全性の確保を要望。現状の確認と共有を持っていただきたい。	北玉小学校付近の通学路については、学校教育課と土木課、北玉小学校、沖縄警察署と合同で通学路点検をしており、学校教育課からは人気が少ない目が届きにくい場所があるなどの意見が出ていたとの報告を受けています。今後は、保安灯設置について宇地原区自治会と協議してまいります。	基地安全対策課